

1 個人経営体（漁船漁業）

1 経営体当たり漁労収入は900万円で、漁獲量は減少したものの、価格の上昇により、前年に比べて10.1%増加した。

漁労支出は616万円で、油費、雇用労賃等の増加により、前年に比べて4.2%増加した。

この結果、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は284万円となり、前年に比べて25.3%増加した。

図1 個人経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合（全国）

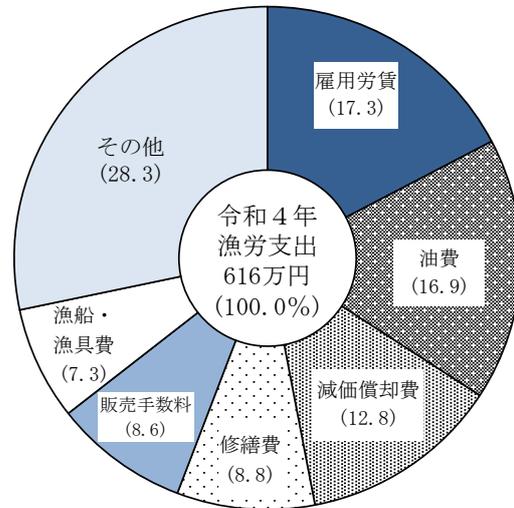


表1 個人経営体（漁船漁業）の経営収支（全国・1経営体当たり）

区分	令和3年	4	対前年差	対前年増減率
	万円	万円	万円	%
漁労収入	817.6	899.9	82.3	10.1
うち 制度受取金等（漁業）	101.5	132.3	30.8	30.3
漁労支出	590.9	615.8	24.9	4.2
うち 雇用労賃	99.2	106.7	7.5	7.6
油費	94.4	104.0	9.6	10.2
減価償却費	80.5	79.0	△ 1.5	△ 1.9
修繕費	51.4	54.2	2.8	5.4
販売手数料	47.9	52.7	4.8	10.0
漁船・漁具費	45.4	44.8	△ 0.6	△ 1.3
漁労所得	226.7	284.1	57.4	25.3
漁労所得率 (%)	27.7	31.6	3.9	nc
漁獲量 (kg)	13,546	12,234	△ 1,312	△ 9.7

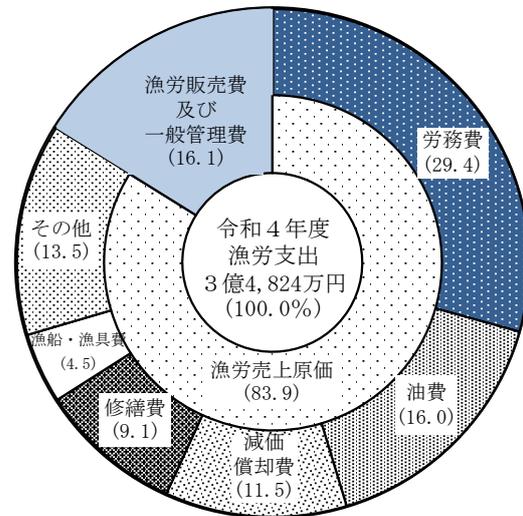
2 会社経営体（漁船漁業）

1 経営体当たり漁労売上高は3億1万円で、漁獲量は減少したものの、価格の上昇により、前年に比べて9.8%増加した。

漁労支出は3億4,824万円で、油費、減価償却費等の増加により、前年に比べて5.7%増加した。

この結果、漁労売上高から漁労支出を差し引いた漁労利益はマイナス4,824万円となり、前年に比べて788万円増加した。

図2 会社経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合（全国）



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表2 会社経営体（漁船漁業）の経営収支（全国・1経営体当たり）

区 分	令和3年度	4	対前年差	対前年増減率
	万円	万円	万円	%
漁労売上高	27,322.5	30,000.6	2,678.1	9.8
漁労支出	32,934.0	34,824.1	1,890.1	5.7
漁労売上原価	27,339.9	29,211.1	1,871.2	6.8
うち 労働費	10,149.1	10,238.2	89.1	0.9
油費	4,540.2	5,560.8	1,020.6	22.5
減価償却費	3,425.2	3,987.8	562.6	16.4
修繕費	3,191.4	3,181.8	△ 9.6	△ 0.3
漁船・漁具費	1,699.4	1,551.7	△ 147.7	△ 8.7
漁労販売費及び一般管理費	5,594.1	5,613.0	18.9	0.3
漁労利益	△ 5,611.5	△ 4,823.5	788.0	nc
漁労外利益	4,453.4	4,551.0	97.6	2.2
営業利益	△ 1,158.1	△ 272.5	885.6	nc
営業外収益	2,245.6	2,808.6	563.0	25.1
営業外費用	326.4	328.9	2.5	0.8
経常利益	761.1	2,207.2	1,446.1	190.0
漁獲量 (t)	1,753	1,579	△ 174	△ 9.9

注： 漁労支出とは、「漁労売上原価」と「漁労販売費及び一般管理費」の合計値である。